

標準委員会 システム安全専門部会 統合的安全性向上分科会
第 17 回統合的安全性向上分科会議事録

1. 日 時 2018 年 7 月 26 日 (木) 13:30~18:00

2. 場 所 JANSI (三田ベルジュビル 13 階) D 会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 成宮主査 (原安進), 上野副主査 (三菱総研), 倉本幹事 (NEL),
田辺 (東電 HD: 石崎委員候補代理), 伊藤委員 (中部),
佐藤 (関電: 合田委員代理), 佐々木委員 (関電), 笹委員 (原電),
鈴木委員 (原安進), 織田 (日立 GE: 曾根田委員代理), 高橋委員 (MHI),
滝沢委員 (東電 HD), 平川委員 (元原安進), 三村委員 (東芝 ESS),
村上委員 (長岡技術科学大学), 与能本委員 (JAEA)

(15 名)

(常時参加者) 石黒 (北海道), 伊藤 (NRA), 江藤 (九州), 鎌田 (原安進),
河井 (原安進), 松本 (北海道: 小林代理), 杉山 (三菱総研),
鈴木 (中部), 西紋 (四国), 野村 (関電), 東山 (北陸), 別府 (中国),
松田 (電源開発)

(13 名)

(傍聴者) なし

4. 配布資料

S3SC17-1 第 16 回統合的安全性向上分科会議事録 (案)

S3SC17-2 人事について

S3SC17-3 IRIDM 実施基準案 (2018/7/26 版)

S3SC17-4-1 IRIDM 実施基準案 システム安全専門部会書面投票 コメント対応表

S3SC17-4-2 IRIDM 実施基準案 標準委員会意見募集 コメント対応表

S3SC17-5 IRIDM 実施基準案 統合的安全性向上分科会 (IRIDM 検討チーム) 相互レ
ビューコメント対応表

S3SC17-6-1 「原子力発電所の定期安全レビュー実施基準: 2009」正誤表 (案)

S3SC17-6-2 “原子力発電所の定期安全レビュー実施基準: 2009” 誤記チェック結果整
理表

S3SC17-7 “日本原子力学会標準 原子力発電所の安全性向上のための定期的な評価に
関する指針: 2015” の解説 (標準委員会技術レポート) の検討状況

S3SC17-8 検討スケジュール

参考資料:

S3SC17-参考 1 統合的安全性向上分科会 委員名簿

- S3SC17-参考 2 IRIDM 実施基準, PSR 関連のシステム安全専門部会報告 (5月23日)
議事メモ
- S3SC17-参考 3 IRIDM 実施基準, PSR 関連の標準委員会報告 (6月6日) 議事メモ
- S3SC17-参考 4 IRIDM 実施基準案 システム安全専門部会書面投票結果
- S3SC17-参考 5 IRIDM 実施基準案 標準委員会意見募集結果

5. 議事内容

倉本幹事より, 議事に先立ち開始時点において, 代理委員を含めて委員 17 名中 15 名が出席しており, 分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。

(1) 資料確認, 前回議事録の確認 (S3SC17-1)

議事次第に基づき, 配布資料の確認を行った。

また, 第 16 回分科会議事録 (案) の確認を行った。特に異論なく, 正式な議事録とすることとした。

(2) 人事について (S3SC17-2, S3SC17-参考 1)

資料 S3SC17-2 を用い, 以下の委員登録に係る審議を行い, 全員一致で承認された。

石崎 泰央 (東電 HD)

以下の委員の登録解除を確認した。

滝沢 慎 (東電 HD)

以下の常時参加者の登録に係る審議を行い, 全員一致で承認された。

片上 雄介 (四国電力)

以下の常時参加者の登録解除を確認した。

伊達 智博 (四国電力)

(3) IRIDM 実施基準, PSR 関連のシステム安全専門部会報告・標準委員会報告の結果確認 (S3SC17-参考 2,3)

倉本幹事より, 資料 S3SC17-参考 2,3 に基づいて, IRIDM 実施基準, PSR 関連のシステム安全専門部会報告・標準委員会報告の結果が説明された。

(4) IRIDM 実施基準案のシステム安全専門部会書面投票・標準委員会意見募集結果, 及びコメント対応 (S3SC17-3, S3SC17-4-1, S3SC17-4-2, S3SC17-参考 4,5)

倉本幹事より, 各資料を用いて, IRIDM 実施基準案に対するシステム安全専門部会書面投票・標準委員会意見募集の結果及び挙げられたコメントが説明され, これまでに対応した内容及び今後の対応方針について議論を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ (資料 S3SC17-4-1 No.23 等) 工藤委員より受けた JIS 準拠に係るコメントにつ

いて修正方針を議論した。「係る」であれば「関わる」に修正する必要はなく、該当の箇所は再度見直すこととなった。

- ✓ (No.3)「漢字をつなげた造語が数多く見られる(例.管理的意思決定)」とのコメントについて、特に修正を行わず、意味が分かりにくいものは標準内で分かるようにする(必要に応じて解説を加える)ことで対応することとなった。
- ✓ (No.68) まえがきの「規制」という言葉については、「規制機関」を意味するのか、述語としての言葉なのかを確認し、適切に使い分け、修正することとなった。
- ✓ (No.70) 附属書の読み込みを行う箇所について議論を行った。用語が出てくる度に附属書を読み込むことはせず、重要なポイントで読み込む方針とし、コメントに対してもそのように回答することとなった。
- ✓ (No.71)「意思決定」を用語として定義していることについて、一般的定義なので不要ではないかとの議論があり、削除することとなった。
- ✓ (No.73)「4 IRIDM の目的」での「社会に甚大な影響を与え得る原子力事業の特性を踏まえて」という記載については、目的を示すこの文章において必ずしも必要なものではなく、削除することとなった。
- ✓ (No.74)「4 IRIDM の目的」で出てくる「プラント及び活動の安全性」という文言は、「プラントにおける施設及び活動の安全性」という言葉に置き換えることとなった。
- ✓ (No.76)「”特定の形態リスク”について説明の必要はないか」という記載については、定量的に数値で示される形態のリスク結果という意味であり、それを表現できる様、前後の文も含めて、適切な修正案を事務局にて検討することとなった。
- ✓ (No.80) 5.2 c)4)の「リスク情報間の相互関係を定義し、」という記載については、統合的な分析において相互関係を定義するということは無いので不適切な記載であり、7.4 節での要求事項と合わせるよう、適切な記載を事務局にて検討することとなった。
- ✓ (No.83) 御指摘を拝承して、「属人的な心理的バイアスの影響」と修正をすることとなった。
- ✓ (No.90) IRIDM プロセスを適用するかどうかのスクリーニングに関しての修正案に対して更に、「リスクが大きいと判断される場合」など、具体的な基準が明確でなく、この状態では現場でどう使えば良いか分からないのではないかとの意見が出され議論を行った。現状では、明確な基準を記載することは難しく、今後の適用事例の追加などで対応を行っていくこととし、現時点では大きな修正はせずということとなった。
- ✓ (No.93)「“費用便益評価による方法”または“多基準分析による方法”のいずれかを使用する」との記載について、いずれかしか使用できないように見えるとの意見が出され議論を行った。“多基準分析による方法”にも様々なやりようがある(工学的判断も許容される)ため、分析方法が限定される訳では無い旨、文章中に追記

することとなった。

- ✓ (資料 S3SC17-4-2 No.1) 「RIDM」と「IRIDM」の関係性に関しては、解説 10に加えて、本文中の用語の定義の箇所にも説明を記載する方針で対応することとなった。
- ✓ (No.3) 「本文においては要求事項のみを明確にすること」とのコメントに対しては、本標準の性質上多少の説明文は残すものの、できる限り要求事項を明確化する方針で対応することとなった。

(5) IRIDM 実施基準案の本文相互レビュー、附属書充実の議論 (S3SC17-3, S3SC17-5)

倉本幹事より、各資料を用いて、IRIDM 実施基準案に対する IRIDM 検討チームでの相互レビューの結果及び挙げられたコメントが説明され、これまでに対応した内容及び今後の対応方針につき議論を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ (資料 S3SC17-5 No.90) 選択肢候補の考案における「複数の」と「幅広く」という言葉の使い方については、「複数の」という記載は削除して「幅広く」という表現のみとする様に、各箇所で適切に修文することとなった。
- ✓ 全体的にコメントを挙げていただいた方において、それぞれの対応内容に問題ないかにつき確認をしていくこととなった。

(6) PSR2009 標準の誤記チェック・正誤表検討の議論 (S3SC17-6-1, S3SC17-6-2)

倉本幹事より、各資料を用いて、PSR 検討チームにて検討を行った PSR2009 標準の誤記チェック結果及び正誤表案の内容が説明され、議論を行った。

主な議論を以下に示す。

- ✓ 誤記チェック結果まとめの集計結果件数と正誤表(案)での件数が合っていないが、これは「確率論的安全評価 (PSA) ⇒ 確率論的リスク評価 (PRA)」の件数の扱い方の違いのためであり、まとめ集計結果において件数の意味を欄外に記載するようとのコメントがあった。
- ✓ No.5 及び No.10 の正誤があるのであれば No.1 は不要であり、読み替えの対象範囲が適切であるかを確認した上で No.1 は削除することとなった。
- ✓ 最終的に正誤表(案)に挙げたものは、No.11,12 を除いては「誤記に当たるものではなく、現状に合わせるための情報の更新と扱うのが適切ではないかとの意見があり議論を行った。「正誤表」という記載は「更新表」などに出来ないかとの意見があり、専門部会にも確認をしつつ、正誤表に説明を追記する等の対応を検討することとなった。

(7) PSR+技術レポート検討の議論 (S3SC17-7)

倉本幹事より、資料 S3SC17-7 を用いて、PSR 検討チームにて実施している PSR+指

針に関する技術レポートの検討方向性及び検討状況の説明が行われた。

(8) 今後の予定, その他 (S3SC17-8)

倉本幹事より, 今後の検討スケジュールについて説明があった。

次回の分科会 (第 18 回) の開催日については, 8 月 28 日 (火) を第一候補として, 8 月 28 日~30 日のいずれかで別途調整して決定することとなった。

以 上